

三次元の絵

『3-Dピクチャー』スリーディメンション・ピクチャー

少し変わったお洒落なアート



『3-Dピクチャー』とは・・・
17～18世紀のヨーロッパで流行したといわれている、言葉通り三次元の絵「立体的な絵」のことです。
海外ではかなり浸透していて「シャドーボックス」と呼ばれています。

誰でも作れる3Dアート

『3-D』の作品を完成させるためには、原則として4枚の絵を使います。
4枚の絵を部分カットして、その一つ一つに、表情をつけながら丁寧に重ね合わせ、遠近感を出し、立体的な3次元の世界を持つ絵に再構築していきます。

平面的な絵が、次第に立体感のある絵に生まれ変わるところが『3-D』の持つ魅力！
その丹精込めて作り上げた作品はまさに宝物です。自分の気に入った絵が4枚揃えば、アイデア次第で様々な『3-D』が作れます。（布・和紙でもOK）



あなたも一緒に『3-D』を作りませんか??
第2・第4水曜日 (AM9:00～12:00)

全日本総合手工芸3-D講師会会員

講師 中川 清子

TEL 011-872-5041 携帯090-7053-3597